

はなしょうぶ

第 127 号（平成 27 年 10 月）

掲載項目は、15 項目です。

- 1 「あいふえすた イン 伊勢」展示会等のお知らせ・・・P 2
- 2 宿泊を伴う生活訓練 参加者募集・・・・・・・・・・P 3
- 3 女性部主催の研修会へのお誘い・・・・・・・・・・P 5
- 4 伊勢支部 文化祭 特別講演会 参加のお誘い・・・P 6
- 5 全国障害者スポーツ大会出場選手のご紹介・・・P 7
- 6 第 61 回全国盲青年研修大会へ参加して・・・・・・P 7
- 7 「ピア・カウンセリング」集中講座及び
長期講座を受講して・・・・・・・・P 9
- 8 地域からの福祉情報 近鉄伊勢若松駅・・・・・・・・P10
- 9 「厚生労働大臣免許保有証」の発行開始・・・・・・P11
- 10 差し上げます・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
- 11 図書サービスの紹介・・・・・・・・・・・・・・・・P12
- 12 投稿 俳句・川柳・短歌・・・・・・・・・・・・P13
- 13 三重県視覚障害者協会 部活動報告・・・・・・・・・・P14
- 14 今後の行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16
- 15 理事のつぶやき・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16

1 「あいふえすた イン 伊勢」展示会等のお知らせ

今年の「あいふえすた」は、10月22日(木曜日)に伊勢市生涯学習センター いせトピアで開催します。

午前中は、表彰や大会宣言、大会決議の発表、午後は佐治 晴夫先生の講演です。

講演会のテーマは、

「宇宙は音に満ちている

ー 人間と聴覚との不思議な関係 ー」

なお、ロビーやふれあい広場では福祉機器展や福祉作業所の販売を行います。

10月1日現在に決定している出展企業、出展物、事業所は次のとおりです。

(敬称略・順不同)

- (1) アイネットワーク有限会社
活字文書読み上げ装置 アイビジョンスピーチオ等
- (2) 株式会社アステム
テレビが聞けるラジオ
- (3) 株式会社エクシオテック (旧・池野通建株式会社)
視覚障がい者 音声誘導設備
- (4) 株式会社タイムズコーポレーション
 - ① 拡大読書器 据え置き型、携帯型
 - ② ルーペ各種
 - ③ 音声紙幣判別機
- (5) 株式会社テックアイオーサービス
紙幣判別機「Wallet」(ワーレット)
- (6) 株式会社ナイツ・中部レチナ
 - ① 拡大読書器
 - ② 単眼鏡

(7) レハ・ヴィジョン株式会社

- ① 音声情報案内装置「ポッチUDシリーズ」
- ② サポートケーン（身体を支える白杖）
- ③ しゃべる地球儀
- ④ 誰でもわかる「男女・多目的トイレの浮出しサイン」

(8) 社会福祉法人 中部盲導犬協会

盲導犬の紹介と体験歩行

(9) 次の作業所の皆様により、パンや廃油せっけん、アクリルたわし、さおり織りのマフラー、手芸品などが販売されます。

工房ぼちぼち倶楽部、step by step、しいの木園、ひまわり、御園しらぎく園、工房そみん、小俣さくら園

※ 拡大読書器とは、

カメラで撮影した映像をモニターに大きく表示する読書専用のビデオ機器で、「そのままの色」で拡大する他、「白黒」や「白と黒を反転」させて表示することができます。

大きな液晶モニターを使った「据え置き型」やカバンに入れて持ち運べる「携帯型」などがあります。

2 宿泊を伴う生活訓練 参加者募集

宿泊を伴う生活訓練の参加者を募集します。

(1) 訓練の主な内容は、

- ① 視覚障害者生活訓練等指導員による歩行訓練
- ② 日常生活用具の使い方などの紹介や訓練
- ③ 文字の書き方、お金の管理について
- ④ パソコン体験、点字体験
- ⑤ 食事指導

- ⑥ 眼科医によるロービジョン（弱視、低視力）に関する相談。主に眼鏡、ルーペの選定などについて助言をしていただきます。

担当は、三重大学附属病院眼科 ロービジョン外来 医師です。

⑦ 宿泊訓練

宿泊に必要な技術や外食、特にバイキング形式などでの食事の取り方などが学べます。

旅行に参加したいが、ホテルでの宿泊やバイキング形式での食事には、不安が伴うこともあるかと思います。本人は、もとよりご家族も一度体験しておくとう誘導や介助の方法がわかり安心です。

また、視覚障がい者に便利な製品の情報も得られ、生活の質の向上につながります。ぜひご参加下さい。

- (2) 日時は、11月19日（木曜日） 10時から
20日（金曜日） 15時まで

- (3) 訓練場所は、視覚障害者支援センター内 及び周辺歩道、
ホテルグリーンパーク津など。

- (4) 訓練スケジュールは、

1日目(19日・木曜日)

10時から 受付、日程の説明

10時30分から12時 ロービジョン相談又は各種訓練

12時から13時 昼食・食事指導

13時30分から16時 各種訓練

16時 ホテルへ移動 宿泊訓練

2日目(20日・金曜日)

7時30分から 朝食（バイキングでの食事訓練）

10時30分から 各種訓練

12時から13時 昼食・食事指導

13時30分から15時 各種訓練

詳細なスケジュールは、参加者のご希望によって決めますが、ロービジョン相談は、19 日（木曜日）10 時 30 分から 12 時の間に行います。

（5）参加費は、無料です。

ただし、宿泊費、食費は実費が必要です。

宿泊費は、シングルルーム使用で 7,000 円。

バイキングでの食事は、1,080 円

その他、昼食の弁当や外食にかかる食費などは、その都度、各自でお支払い下さい。

（6）募集人数は、5 人程度。ただし、宿泊は 3 人程度。

（7）参加希望の方は、10 月 30 日までに視覚障害者支援センターへご連絡下さい。

電話 059-213-7301

（8）その他

食事などに介助が欲しい、家族と一緒に参加したい、宿泊はしない、一部分のみ参加などのご要望にもできる限りお応えいたしますのでその旨お申し出下さい。

3 女性部主催の研修会へのお誘い

（1）日時は、12 月 3 日（木曜）

午前 10 時 30 分から午後 3 時（予定）

（2）場所は、三重県社会福祉会館 3 階 講堂

（3）午前は、津保健所の方に「健康に関する講話」をしていただきます。

（4）午後は、各支部の会員の皆さんによるカラオケの後、

「ふみこ」さんのトークとライブショー

「ふみこ」さんは、大阪府枚方市で活躍されておられる歌手で、視覚障がい当事者でもあります。

- (5) 詳細なことは次号の「はなしょうぶ」でご案内させていただきますので、女性部の方はもちろん、女性部以外の方でも興味を持っていただける方は是非ご参加下さい。

4 伊勢支部 文化祭 特別講演会 参加のお誘い

伊勢市視覚障害者福祉会 会長 鈴木 守
伊勢市視覚障害者福祉会では 第48回文化祭を開催します。
午後の部で開催する講演会には、特別講演者として、NHK
津放送局アナウンサーの大坂 敏久（おおさか としひさ）氏
をお迎えします。

講演会は、どなたでも楽しんでいただけるお話したと思います
ので、皆さんの参加をお待ちしています。

- (1) 開催日は、11月12日（木曜日）
- (2) 講演会の時間は、午後1時から3時まで
- (3) 会場は、伊勢市福祉健康センター 2階

伊勢市八日市場町 13-1

- (4) 締切りは、11月10日
- (5) 申込先は、伊勢市視覚障害者福祉会 会長 鈴木守まで
(電話 0596-24-0870)
(携帯 090-4113-3455)

(6) 大坂 敏久氏 プロフィール

大坂 敏久氏は、大相撲を中心としたスポーツ実況を担当し
ています。また他のアナウンサーとは異なり、力士を分析して
批評することもあります。

大相撲中継の他、高校野球、ラグビー、バドミントン、競馬、
柔道など多岐に渡る「スポーツ中継」も担当しておられます。

大坂氏の声は、元NHK名アナウンサー志村 正順（しむら まさより）氏に似た声です。

覚えている方もいらっしゃると思いますが、以前に伊勢支部は、志村アナにも講演いただきました。

今回のお話しは、放送には出ない話題、出せない話などをお話しいただく予定にしています

出身地、千葉県千葉市

生年月日、1975 年 1 月 6 日（40 歳）

最終学歴、成城大学経済学部卒業

職歴、活動期間は、1998 年にNHKに入局し、盛岡→宇都宮→大阪→青森を経て、現在はNHK津放送局 放送部

5 全国障害者スポーツ大会出場選手のご紹介

10 月 24 日（土曜日）から 26 日（月曜日）まで和歌山県で開催される「第 15 回全国障害者スポーツ大会」に出場する三重県選手のうち視覚障がいの方は次のお二人です。

- （1）サウンドテーブルテニス 川瀬 清良さん（いなべ支部）
- （2）陸上競技 伊藤 雅彦さん（菰野支部）

皆さん頑張って下さい。

6 第 61 回全国盲青年研修大会へ参加して

青年部 黒田 昌弘

9 月 12 日（土曜日）から 13 日（日曜日）に広島県福山市にて開催された「第 61 回全国盲青年研修大会」へ参加して来ました。

大会 1 日目は常任委員会、代表者会議、分科会、全国委員会が行われました。

竹下日盲連会長より、国や地方の現在の状況などのお話をいただき、各分科会においては我々の日常生活に直結する課題について活発な意見交換が行われました。

夜の夕食会では、全国の仲間と楽しい時間を過ごさせていただきました。

2日目は研修会、式典、記念講演と続き全日程を無事に終了しました。

今回の大会は、例年以上にボランティアの方々やホテルのスタッフの対応が親切で不安なく行動する事が出来ました。他の参加者からも感謝の声が多数あがっておりました。

前もって視覚障害者が来るから準備をするのではなく、我々が単独でもいつでも何処に行っても今回のような対応をしてもらえるようにするためにも、私達がどんどん外へ出る事が大事なのではないかと思います。

最近の全青大会に参加して思う事のひとつに、今までは自分達の生活や職域を守ろうと言う雰囲気でしたが、最近では、我々視覚障害者自らが社会へどんどん出て行き、自分達の事を知ってもらうことで生活や職域を守ることにつなげよう。自分達に出来る事や自分達にしか出来ない事を見つけ実践していく事が大事であり必要なのではないかと。という声が多く聞かれるようになりました。

まさにその通りだと思います。

来年の大会は千葉県で開催されます。

一人でも多くの青年層の方に参加していただき、思いを共有し、仲間を増やし視野を広げることが出来ればと思います。

皆さんの参加をお待ちしています。

7 「ピア・カウンセリング」

集中講座及び長期講座を受講して

松阪市 大西 昇一

私は、今年4月から8月の間に、ある自立生活センター主催の「ピア・カウンセリング」の集中講座（3日間）及び長期講座（7日間）を受講する機会に恵まれました。

「ピア・カウンセリング」講座は、視覚障がい者のみの参加で開催されるものもありますが、多くの場合は、いろいろな障害を持つ人たちが一緒に参加する形をとっています。

「ピア・カウンセリング」とは、主に障がい者自身がカウンセラーとなって障がい者に対して行うものです。

クライアント（相談者）である障がい者が、カウンセラー担当の障がい者に対し自分の本音を話すことによって自分の心の中を整理し、自分の自信を取り戻して、人間関係を再構築したり、自分のことから挑戦して、少しずつ社会を障がい者にも住みよい状態に変えていこうというものです。

私は、この講座の中で、輝いて生きている多くの障がい者に会いました。

CP（脳性まひ）の方で、高等部まで特別支援学校に在籍していたのに、思い切って大学で学び、自立している方たちにも何人かお会いしました。

精神障がい者も含め、障害は異なってもお互い今まで多くの苦労や悔しい思いをしてきたもの同士であるため相手を思いやり、カウンセラーとして本気で相手の話を聴くことができるのだと思います。

東京大学教授の福島 智氏も最近の著書「ぼくの命は言葉とともにある」（致知出版社）の中で盲ろう者同士の「ピア・カウンセリング」に関わったことについて少しだけですが触れています。

「ピア・カウンセラー」といういわゆる公的な資格はありません。一般的に認められているカウンセラーのように専門的に心理学やカウンセリング技術の学習をしたり、臨床心理士等の専門家の指導を受けたりするわけでもありません。

講座のリーダーの指導を受けながら、障がい者同士でセッション（時間を対等に決めて話を聴きあう）やロールプレイ、その他いくつかの手法を用いて1対1や少人数での実践練習を実施して知識や技術を高めます。

「ピア・カウンセラー」は多くの場合、全国の自立生活センターに所属しており、障がい者の自立をサポートするために活動しています。

私はまだ初心者であり、限られた字数の中で、「ピア・カウンセリング」を語ることは不可能ですので、もし興味がある方がおられましたら私にご連絡いただくかインターネットで検索してみてください。

8 地域からの福祉情報 近鉄伊勢若松駅

近鉄伊勢若松駅では、バリアフリー化整備工事中です。

完成予定は、来年の3月末頃の予定です。

この工事で整備される主な内容は、

- (1) エレベーター及び跨線橋を新設し、駅構内の段差を解消します。
- (2) 障がい者対応トイレを新設します。
- (3) 内方線付き点状ブロックを整備します。

内方線付き点状ブロックとは、ホームからの転落を防ぐため、点字ブロックの内側に安全な方向を示す1本線のブロックが追加されたものです。

- (4) 待合室の扉の開口幅を広げ、扉は自動で閉まるようになります。

(5) 点字表示した触地図を駅舎に設置します。

(6) 誘導チャイムを整備します。

駅舎入り口と伊勢中川方面側のホームの端を「ピンポン」と音で知らせてくれます。

(7) 階段手すりを2段化します。

なお、この工事のため一部ホームが狭くなっています。通行の際にはご注意ください。

9 「厚生労働大臣免許保有証」の発行開始

「厚生労働大臣免許保有証」の発行を日本盲人会連合が開始しました。

「厚生労働大臣免許保有証」とは、

「あん摩マッサージ指圧師、はりきゅう免許証」をお持ちの方が、免許証を保有していることを示すための携帯用カードで、発行費用は4,000円です。

免許保有者が必ず持っていなければならないものではありませんが、無資格者との差別化に効果的なカードです。

申請受付の締め切りは11月16日（月曜日）です。

発行を希望される方は三重県視覚障害者協会へお問い合わせ下さい。

電話 059-228-3463

10 差し上げます

全国銀行協会が発行している「キャッシュカードや通帳等の盗難・紛失時のご連絡先」という小冊子を差し上げます。

墨字と音声コードで印刷されています。

ご希望の方は、三重県視覚障害者支援センターまでご連絡下さい。

電話 059-213-7301

1 1 図書サービスの紹介

三重県視覚障害者支援センターでは、次のような利用者向けサービスを実施しています。

詳細についての問い合わせや利用申込みは、電話などでご連絡下さい。

電話 059-228-6367

(1) 図書の貸出

録音図書や点字図書、録音雑誌、点字雑誌などの貸出を行います。

来館して借りていただく他に、電話などでリクエストいただき、郵送でお送りし、郵送で返却していただきます。送料は貸出時にも返却時にもかかりません。

(2) 図書だよりの発行

毎月三重県視覚障害者支援センターが製作する図書の情報誌を発行しています。

録音や点字の着手や完成の情報の他に「サピエ」の新刊案内や貸出ランキングなども掲載しています。

(3) 「県政だよりみえ」と「みえ県議会だより」を点字版、デジー版などで発行しています。

(4) プライベートサービス

図書やパンフレット、電気製品の取扱説明書などの点訳や音訳をします。

申し込んでいただく場合には、原本をご用意いただき、点字用紙やCDなどは、利用者負担となります。

(5) 対面朗読

利用者に当センターに来館いただき、手紙、パンフレット、説明書などの墨字資料を対面で音訳します。

なお、ご利用の際は、あらかじめ電話等で予約をして下さい。

(6) レファレンスサービス

利用者のニーズに応え、図書の検索・図書紹介・資料提供を行います。

当支援センターの蔵書だけでなく全国の点字図書館などの蔵書から探すことができます。

※ サピエとは、インターネット上の図書館です。

点字図書や録音図書などをいつでもすぐ読むことができます。利用するためには、会員登録が必要です。会員登録は、ホームページから直接申し込む他、当センターを通じて申し込むこともできます。

※ デイジー

視覚障がい者や眼で文字を読むことが難しい方（学習障がい者など）のために作られた、カセットテープに変わる録音図書の世界規格です。また、この規格に準拠し、CDに録音された図書をデイジー図書と呼んでいます。

デイジー図書は、1枚のCDに約40時間録音が可能なのでほとんどの図書を1枚のCDに収める事が出来ます。

また、ページ移動や見出し検索できたり、章や節など自由に移動ができます。

利用には、専用の再生機が必要です。

12 投稿 俳句・川柳・短歌

俳句

オジギソウ またの草の名 眠り草
曼珠沙華 紅白咲し 寺の道
保津川を 下り 左右に 紅葉見て
先人に 達者告げし 彼岸寺
感謝する 秋の味覚と 誕生会

塚田 良平
なばな
はまぎり
福清
宮崎 良子

川柳

腹を立て 頭冷やして 国守る 志摩市 森 和夫
あらためて 大雨の力 怖さ知る 八白土星は大器晩成

(水無月会 石田 寿子選)

指先で たどる点字の 案内図 日置 芳子
こだわりが ひとつふたつは ある暮らし 楠木 博子
急須から こだわって出す ひとしずく 水谷 幸

短歌

高熱の 熱きひたいに 手を置いて
けだるい夜を ひたすら 祈る
倉田 隆子

栗の実の 枝より離れ 顔の上
はねて 川面の 舟となりける
野梨 豊

編集者より：俳句 川柳 短歌は、お一人様・1 作品の掲載
としています。ご了承下さい。

1 3 三重県視覚障害者協会 部活動報告

サウンドテーブルテニス部

皆さんこんにちは、部長の堀です。

9月21日、22日に東京で「第12回 日本視覚障がい者卓球大会」が行われました。

この大会は、毎年全国から腕に自信のある選手が集まってきます。今年は、三重県から4名の方が参加され、初出場の伊藤雅彦さんが、アイマスクありの部で2位に、村井正治さんが、アイマスクなしの部で3位に入賞されました。

近年は三重県も新しい選手が増え、レベルも上がってきていると感じます。

これからもよい成績が残せるように頑張っていきたいと思っています。

10月18日には津市一身田の身障者福祉センターで「第5回三重県視覚障がい者サウンドテーブルテニス大会」も開かれますので、興味のある方は見に来てくださいね。

グランドソフトボール部

監督の加藤です。

9月6日に身障センターにおいて、三重県審判講習会の開講式が行われました。

埼玉県より全日本連盟の渡辺会長、長野県より講師として前審判事務局の本多 剛氏を招き、新たに三重県の審判員となられる6名の方々と共に無事講習会を終了しました。

9月27日に大阪久宝寺において、「ふれ愛カップ大会」が行われ、三重チームは準優勝でした。

10月11日に身障センターにおいて、秋の「中日本大会」が行われる予定ですので、それに向けて練習に励みたいと思います。

フロアバレーボール部

ほとんどの大会に健常者も選手として参加していただけますので、年齢、男女、障がい者、健常者の区別なくフロアバレーを楽しもうと思う方は是非入部してください。

また審判も募集しますので、協力して下さる方は視覚障害者支援センターへ連絡して下さい。のちほど部長から詳しくお知らせします。

1 4 今後の行事予定

三重県視覚障害者支援センター・三重県視覚障害者協会など

10月17日（土曜日） 視覚障害者生活訓練等指導員 相談日
（支援センター・要予約）

10月18日（日曜日） 第5回三重県視覚障がい者S T T大会
（身障センター）

10月22日（木曜日） あいふえすた イン 伊勢（伊勢市）

11月5日（木曜日） 理事会（支援センター）

11月5日（木曜日）から6日（金曜日） げんき教室（菰野町）

11月19日（木曜日）から20日（金曜日）
宿泊を伴う生活訓練（支援センター他）

1 5 理事のつぶやき

内田 順朗

最近介護などのサービス付き住宅に関する深刻なニュースがありました。例えば川崎市で起きたサービス付き高齢者住宅での利用者の連続転落事故などですね。

視覚に障害があり、すでに高齢者に近づいたものとしては他人事ではない関心事であります。

たとえ扶養義務のある子供達がいたとしても、様々な社会的環境から、昔のように成人した彼らと同居して安心して暮らせるという条件は、全く薄れてしまいました。

人生を有意義に謳歌できるなら長生きも良いわけですが、高齢に伴う精神や身体能力の悪化は防ぎようがないのが現実です。

その上、歳をとってからの住居の確保がまた現実の問題となってきます。

日頃の買い物や保健・医療施設などへの外出のしやすさを考えたり、健康面での公的ケアが必要となった場合の住まいの選択にはなかなか計画を立ててみようかということにはなりませんね。

自宅での生活がままならぬようになれば、住まい方としては先に挙げた「サービス付き高齢者住宅」から「特別養護老人ホーム」までいろいろな種類はあるようです。

それらの中から、己の住まいを確保し、受けられる公的介護サービスを選択し、低下する体力と精神力と経済力に寂しさと悲哀を感じながら日々を送るのでしょうか。

私は現在介護保険のデイサービス施設で機能訓練指導員として少しばかり仕事をしています。

利用者の方々の詳細な背景はわかりませんが、継続して観察をしていますと老後のあり方についていろんな感慨が浮かびます。「人生の終末を穏やかに過ごせたらなあ」という願いは誰にもありますが、現実には精神や身体の不調との戦いです。介護保険財政の逼迫もありサービス内容は制限されつつあります。

しかしながら一旦「ケアの対象」になってしまうとあまり自己努力をしないという傾向も強まります。

足腰の衰えを少しでも遅らせようとする生活の工夫や少しばかりの運動もしなくなります。

少子高齢化の中で様々な矛盾なことを感じながらの今日の頃です。

はなしょうぶで募集した行事などは、報道機関の取材などにより、氏名や写真・映像などが公開される場合があります。

はなしょうぶに掲載する原稿を募集しています。

県内の視覚障がい者に関する情報や体験記、川柳・俳句・短歌などをお寄せ下さい。

なお、分量は短くてもかまいませんが、最長でもメールや墨字の場合 1,300 字以内、点字は 80 行以内、録音は 5 分以内にまとめていただくようお願いします。

ただし、お寄せ頂いた原稿は調整をさせていただく場合や、掲載できない場合もあります。ご了承下さい。

はなしょうぶは、点字版、テープ版、デイジー版、墨字版、音声コード版で発行し、Eメールでの送付も行っています。また、ホームページにも掲載しています。

お送りする情報手段の変更や送付中止などは、支援センターまで。

「はなしょうぶ」に対するご意見・ご希望もお寄せ下さい。

編集発行 三重県視覚障害者支援センター

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会 会長 内田 順朗

点字図書館 059-228-6367、生活訓練 059-213-7301

I T 059-213-7300、事務局・購買 059-228-3463

ファックス 059-228-8425

H P <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

Eメール mieten@zc.ztv.ne.jp

開館日 月曜日から土曜日まで

休館日 日曜日、祝日、年末年始

開館時間 午前 9 時から午後 5 時まで